

# 県会士会 診断 会員が診断事例発表 更新レポートの参考に

福井県コンクリート診断士会(石川裕夏会長)

は十月二十五日、福井県

職員会館で「第二回技術

交流会」を開いた。今回

は昨年引き続き、会員

によるコンクリート診断

事例が発表された。三十

二名が参加した。写真。

技術交流会は、様々な

業種の会員が集う同会の

特徴を活かし、会員間の

技術交流や意見交換を促

進する目的で開いた。受

講者は異業種の診断事例を聞くことで、コンクリート診断士としての技術的視野が広がるほか、発表者もコンクリート診断士が四年ごとにJCCIへの提出が義務付けられている更新レポートの参考となる。また、発表者



は技術交流会を通じて、プレゼンテーション能力(発表能力)を高める目的。

事例発表は、次の通り。「河川工作物に多数発生

したひび割れの調査、診断と補修方法の提案」上野重夫氏(三谷生コン敦賀)、「新築建築物に発生したクラックの調査」多田浩二氏(エルデイ)、「道路橋樑床版の変状調査と耐荷力照査」中山伸一氏(サンワコン)、「現場打ちボックスカルバートに発生したひび割れ調査」濱岡弘二氏(日本ピーエス)、「鋼板が接着されたRC床版の診断」古井聖祥氏(サンワコン)

同会は十一月二十九日に若狭湾エネルギー研究センターで「第四回非破壊検査研修会―超音波法・衝撃弾性波法、ひび割れ計測編―」を開く予定。